

# 目 次

まえがき ..... i

## I エキゾチック $\pi$ 電子系有機分子の設計・合成

1 有機導電体の設計と合成 ..... 菅原 正, 泉岡 明... 3

1 分子性導体の電子構造 3

1.1 ドナーのカチオンラジカルの一次元配列  
とダイマー・モデル 3

1.2 混合原子価状態の電子構造 4

1.3 強電子相関系の電子構造 5

2 新しいドナー・アクセプターの設計指針  
6

3 拡張  $\pi$  電子系を有するドナー・アクセプ  
ターの設計 8

3.1 拡張  $\pi$  ドナーの設計 8

3.2 拡張  $\pi$  アクセプターの設計 9

4 多彩な伝導経路を可能にするドナーの設  
計 9

4.1 カルコゲン原子の接触と導電経路の形成  
9

4.2 ダイマー型ドナーの特徴 10

4.3 導電経路の多次元化 11

4.4 導電経路の直交化 11

5 超分子構造体の構成単位となるドナーの  
設計 13

5.1 配列制御部位を組込んだドナー・アクセ  
プター 13

5.2 包接体結晶を与えるドナー 15

6 強電子相関を示しうるドナー・アクセ  
プター 16

6.1 強電子相関を示しうるドナー分子集合体  
の構築 26

6.2 バンドフィーリングを制御しうるドナー・  
アクセプター 17

6.3 2重交換相互作用を有する有機磁性金属  
の設計 18

文 献 20

2  $\pi$  共役系オリゴマー・ポリマーの分子設計・合成

—高規則性  $\pi$  共役芳香族高分子の合成を中心に ..... 山本隆一, 丸山 司... 22

1  $\pi$  共役芳香族高分子の合成法 22

1.1 ポリ(*p*-フェニレン)(PPP) 22

1.2 ポリ(チオフェン-2,5-ジイル)(PTh) 27

1.3 ポリ(ピリジン-2,5-ジイル)(Ppy) および  
ポリキノリンジイル(PQ) 32

1.4 ポリ(アリーレンビニレン) 35

1.5 ポリ(アリーレンエチニレン) 36

1.6  $\pi$  共役有機金属ポリマー 37

文 献 39

<追 補> 42

3 分子性有機磁性体の分子設計・合成 ..... 杉本豊成... 44

1 有機高スピン分子の合成と有機高スピン  
ポリマーへの展開 45

2 分子間強磁性的相互作用を有する有機ラ  
ジカル結晶 46

3 有機 CT 錯体に基づく有機磁性体の開発  
47

3.1 縮重軌道をもつ有機ドナーおよびアクセ  
プターの合成とその基底スピン状態 48

3.2 有機 CT 錯体強磁性体合成の試み 49	体, フェリ磁性体および強磁性金属の可 能性 52
3.3 ラジカル置換基を有するドナーあるいは アクセプターの CT 錯体——有機強磁性	文 献 54
<b>4 強磁性高分子の分子設計・合成</b> ..... 岩村 秀 57	
1 分子内スピノ整列の設計 58	3 高スピノオリゴマーおよびポリマーの合 成と磁性 63
2 高スピノ有機分子の設計——Hund 則を 破る非 Kekulé 分子の発見 60	文 献 69
<b>5 アモルファス分子材料の分子設計・合成</b> ..... 城田靖彦 71	
1 ガラスとは 71	7 ガラスからの緩和過程——ポリモルフィ ズム 78
2 ガラスの生成と確認 72	8 ガラス状態における反応と物性 79
3 アモルファス分子材料 73	8.1 導電性 80
3.1 真空蒸着法その他によって生成するアモ ルファス膜 73	8.2 電荷輸送特性 80
3.2 高いガラス転移温度を有する安定なガラ ス 73	8.3 分子性ガラスマトリックス中におけるフ ォトクロミック反応 80
4 $\pi$ 電子系スターバースト分子の合成 76	9 アモルファス分子材料の有機エレクトロ ルミネッセンス素子への応用 81
5 分子構造とガラス形成能との相関 77	文 献 82
6 分子構造とガラス転移温度との相関 78	
<b>6 分子軌道法を用いる <math>\pi</math> 電子系機能分子の設計</b> ..... 山口 兆, 中野雅由, 森 和亮 83	
1 磁気的性質 83	3 光学的性質 89
1.1 スピノ整列規則 83	3.1 電子相関効果 89
1.2 有効交換積分( $J$ )の理論計算 85	3.2 周波数依存分極率および超分極率 90
1.3 転移温度の推算 87	3.3 非線形光学スペクトルの計算 91
2 有機磁性金属の分子設計 87	文 献 92
<b>II <math>\pi</math> 電子系有機固体における電荷の振舞い</b>	
<b>7 有機半導体の新展開</b> ..... 井口洋夫 95	
1 有機半導体の分類とその歴史的流れ 95	99
2 BTQBT 98	4 有機半導体のこれから 101
3 BTQBT の電子構造とエネルギー帯構造	文 献 102
<b>8 分子性金属・超伝導体の結晶構造</b> ..... 小林速男, 小林昭子 104	
1 金属状態が実現する条件 105	2.1 中心金属の鎖状配列 105
2 部分酸化型一次元白金錯体 105	2.2 格子変調 106

3 分離積層型カラム構造をもつ分子性金属 106	5.1 $\beta$ -型構造 110
3.1 平行カラム構造 106	5.2 $\kappa$ -型構造 110
3.2 立体交差型カラム構造 107	5.3 その他の重要構造 111
4 多カルコゲン分子とカラム間相互作用の 導入 108	6 遷移金属錯体分子を構成要素とする伝導 体 112
4.1 TMTSF 系 108	6.1 M(dmit) <sub>2</sub> (M=Ni, Pd) の超伝導体の構 造タイプ 112
4.2 金属ジチオレン錯体 109	6.2 その他の重要な伝導体 113
5 BEDY-TTF 超伝導体——二次元分子配 列様式をもつ超伝導体 109	文 献 114
9 分子性金属・超伝導体の物性 ..... 小林速男, 加藤礼三... 115	
1 強結合近似バンド 115	3.2 TMTSF 超伝導体 120
2 一次元金属と不安定性 116	4 二次元金属系 121
2.1 一次元 d バンド 116	4.1 BEDT-TTF 超伝導体など 121
2.2 分極率の異常 117	4.2 分子性金属のフェルミ面 123
2.3 格子変形とバンドの分裂 118	5 その他の伝導体 124
2.4 交互積層カラム 118	5.1 M(dmit) <sub>2</sub> 超伝導体 124
3 擬一次元金属状態 118	5.2 DCNQI-Cu 系 125
3.1 次元性 118	文 献 126
10 導電性高分子の電子物性 ..... 田中政志, 神谷幸司... 128	
1 ポリアセチレン(PA)の電子構造 128	4 ポリピロール(PPY)およびその類似化 合物の電子物性 134
2 少量ドープしたポリアセチレンの電子構 造 128	5 ポリアニリンの電子物性 135
3 多量にドープしたポリアセチレンの電子 物性 130	6 共役系高分子の応用 138
	文 献 140
11 フラーレン固体の電子物性 ..... 丸山有成... 143	
1 フラーレン(C <sub>60</sub> )分子の電子状態 144	3.1 C <sub>60</sub> 化合物の電子構造の基本的問題 152
2 フラーレン(C <sub>60</sub> )固体の電子状態と物性 146	3.2 C <sub>60</sub> 化合物における分子配向 153
2.1 C <sub>60</sub> 結晶の分子配向と結晶構造 146	3.3 M <sub>3</sub> C <sub>60</sub> の超伝導機構について 154
2.2 バンド構造と導電性 149	3.4 C <sub>60</sub> 錯体の磁性について 157
3 フラーレン化合物の電子物性 152	3.5 C <sub>70</sub> および金属入りフラーレン 157
	文 献 158
12 有機非晶固体における電荷輸送 ..... 城田靖彦... 161	
1 ドリフト移動度 161	デル 162
2 非晶固体系における電荷輸送の特徴 162	3.1 Scher-Montroll 理論 162
3 非晶固体系における電荷輸送の理論とモ デル 163	3.2 ドリフト移動度のホッピングサイト間距 離, 電場強度および温度依存性 163

Poole-Frenkel モデルに基づく経験式 163 / Small-polaron モデル 164 /	距離依存性 167
Disorder モデル 165	4.3 電子輸送 168
4 最近の研究例 166	4.4 パインダーポリマーの影響 168
4.1 負の電場強度依存性 166	4.5 分子性ガラスにおける電荷輸送 169
4.2 活性化エネルギーのホッピングサイト間	文 献 171

### III $\pi$ 電子系有機固体におけるスピニの振舞い

13 強磁性的分子間相互作用のメカニズム .....	阿波賀邦夫… 175
1 McConnell の提案 175	verdazyl 180
2 強磁性的ラジカル分子の電子状態 178	4 McConnell の 2 つの提案, その同等性
3 強磁性的な分子間配置 179	181
3.1 Galvinoxyl 179	文 献 183
3.2 1, 5, 6-Triphenyl-3(4-nitrophenyl)	
14 低分子量有機 radical 結晶の磁性 .....	木下 實… 187
1 有機 radical の磁性 187	5 有機強磁性体 195
2 反強磁性相互活用 188	5.1 <i>p</i> -NPNN の $\beta$ 相 195
3 Polyradicals 191	5.2 その他の化合物 197
4 強磁性相互作用 193	文 献 198
15 高分子系有機固体の磁性 .....	蒲池幹治… 200
1 主鎖共役型高分子 200	3 含金属高分子 207
2 平面網目状高分子 206	文 献 212

### IV $\pi$ 電子系有機固体の応用

16 FET 素子——有機半導体薄膜の構造と導電性 .....	堀田 収… 217
1 オリゴチオフェン薄膜の構造 217	3 薄膜の構造と伝導機構 219
2 FET 素子の作製とその動作特性 217	文 献 221
17 二 次 電 池 .....	山本隆一, 神原貴樹… 222
1 二次電池の動作原理 222	3 関連分野 228
2 二次電池の設計 224	文 献 228
18 薄膜発光素子 .....	斎藤省吾… 232
1 有機 EL 素子の構造 232	成励起子の閉じ込め 233
2 有機発光層内の注入キャリアーおよび生	3 発光層中の発光サイトの分布 234

4 発光材料の新しい流れ 234	子 235
5 光マイクロキャビティーとしての EL 素 236	文 献
19 光電導を用いた光屈折性高分子材料とその応用 ..... 川上哲司, 園田信雄... 237	
1 光屈折性の発現機構 237	3 光屈折性高分子の応用 241
2 有機高分子材料における光屈折性の研究 244	文 献
239	
ABSTRACTS : Organic Solids Based on $\pi$ -Electron Systems ..... 247	
索 引..... 255	
著者紹介 127, 231, 246	